

令和4年 第847回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和4年9月16日(金)		開会 15:30 閉会 16:20		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	山崎職務代理者	上田委員	村上委員	
欠席委員	桂田委員				
事務局	教育部長	教育総務課長	生涯学習 スポーツ課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	大山GL	安田企画主査	上林指導主事	
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p>委員会開会</p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風14号への対応について <p>明日から3連休であるが、連休中に内外海小学校が体育大会を予定している。台風が小浜市に最接近する時期は、19日夕方以降から20日朝方にかけてという予報であるが、今後の台風の進路によっては予断を許さないことにもなるため、学校には本日中の学校内外の点検をお願いしている。20日の児童生徒の登校については、状況に応じて始業時間を遅らせるなど適切な対応も併せてお願いしている。すでに小浜第二中学校では、JRの運休の可能性が高いということから、20日の授業についてはオンラインで実施するということを保護者に通知している。</p> <p>1 会議録の承認について</p> <p>第846回教育委員会定例会会議録《承認》</p>					

会議録署名人2名の選任

第847回教育委員会定例会会議録署名委員選任《山崎職務代理者、村上委員》

2 報 告

- ・報告第10号 諸般の報告 令和4年8月19日～令和4年9月15日
行事予定 令和4年9月16日～令和4年10月31日《承認》

教育長 次回の定例教育委員会の日程であるが、10月21日（金）は、別の公務に出席するため、開催できない。

事務局 後日日程調整をさせていただく。

3 議 案

- ・議案第18号 令和4年度小浜市文化奨励賞被表彰者の決定について《承認》

教育長 これまでの文化奨励賞の受賞者で、小浜市表彰の受賞者が文化奨励賞の受賞者となったケースはあるのか。文化奨励賞の受賞者が小浜市表彰の受賞者となることはこれまでもあったと認識しているがどうか。

事務局 文化奨励賞と小浜市表彰の受賞要件がそれぞれ異なっており、今回の候補者である観光ボランティアガイド若狭の語り部は、観光案内活動について顕著な実績を上げられた点を評価して小浜市表彰を受賞しているが、今回は、学校での歴史の伝承や市民に対する公開講座を実施したことなど文化振興に対する顕著な実績を評価して、文化奨励賞の受賞者として提案するものである。

教育長 文化奨励賞受賞候補者選考委員会の中で、小浜市表彰と文化奨励賞との関連性について、選考委員の中から何か意見はあったのか。

事務局 今回の選考委員会の中では、小浜市表彰と文化奨励賞との関係性について特に意見はなかったが、文化奨励賞の選考の基準について意見があった。文化奨励賞の奨励の部では基準として、これまで活動期間を10年間としていたが、評価する活動期間としては長すぎるのではないかという意見があり、また、表彰の対象年齢を18歳以上としていることに対して、18歳未満であっても卓越した活動により活躍しているのであれば、表彰対象者としてもよいのではないかという意見があった。このようなことから基準の見直しを含めよりよい文化奨励賞の表彰としていくための検討をしていきたいと考えている。

教育長 基準の見直しをするための手続きはどのようにしていくのか。

事務局 文化奨励賞の基準を定めているものには、規則と要綱がある。規則改正については、教育委員会での承認が必要であり、要綱の改正についても、教育委員会においてその改正内容を説明させていただきたいと考えている。

教育長 選考委員会では、表彰基準の見直しを協議することはないのか。

事務局 表彰者の選定は、規則第6条の規定により、教育委員会が選定し、規則第7条の規定により、教育委員会が表彰を受ける者の選考を行うときに、選考委員会を設置してその意見を聞くことになっている。選考委員会は、受賞者に対する意見をいただく機関となっており、今回の受賞者についてはご異議はなかったということになっており、委員からの意見としてあった表彰基準の見直しについては、今後、検討をした上で、規則改正については、教育委員会でお諮りし、要綱や内規については、事務局でより良い選考ができるように組み替えていきたいと考えている。

教育長 奨励賞という表彰の性格から、年齢要件を下げ、例えば高校生でも受賞が可能になるように改めはどうかということ、短期間であっても非常に注目を浴びる活動や斬新な活動を行い、将来の活躍が期待できるものについても表彰対象としてはどうかという意見があったということで、今後の表彰に向けて検討をしていくこととし

ていきたい。また、小浜市表彰との統合やこれまでどおりの表彰としていくなどのあり方についても今後議論し、検討していきたいと考える。

上田委員 観光ボランティアガイド若狭の語り部は、産業部商工観光課が推薦したものと説明があったが、河野直子氏はどうか。

事務局 生涯学習スポーツ課が推薦したものである。

教育長 文化協会からの推薦ではないのか。

事務局 文化協会に表彰の対象者を打診し、最終的には生涯学習スポーツ課が推薦している。

村上委員 観光ボランティアガイド若狭の語り部の活動内容として、各学校での訪問活動をしているということであるが、各学校ではどのような講義を行っているのか。

事務局 各学校では、学校の要請を受けて、依頼された学年を対象として講義を行っている。例えば令和2年度では、内外海小学校で泊集落の人道の碑をテーマとした講座を、5、6年生25名を対象に行っている。小浜小学校では、小浜西組の重伝健地区の取り組みをテーマとした講座を、6年生32名を対象として行っている。

教育長 各学校ではふるさと学習の一環として、地域の方々から学ぶという活動を行っている。

上田委員 今回の表彰者については、すべて行政機関からの推薦を受けて提案されているが、文化協会からの推薦はなかったのか。文化的な活動であれば文化協会からの推薦があることがあるべき姿ではないかと思う。

事務局 文化奨励賞の表彰者の推薦は、市役所内の各課長、各公民館、各学校に照会している。今回の場合では、照会を受けた商工観光課が所管する各種団体の中から該当する団体を推薦してきており、また、生涯学習スポーツ課からは、所管する各種団体のうち文化協会に声を掛け、生涯学習スポーツ課を推薦者として推薦している。

上田委員 現場のことは現場の方が一番よく知っているということで、文化に関することは文化協会から直接推薦をいただく方が表彰者として最もふさわしい方を表彰する

ことができるかと考えるがどうか。

事務局 今回の生涯学習スポーツ課からの推薦は、生涯学習スポーツ課が今回の表彰者を推薦するにあたって文化協会からの意見を聞いたわけではなく、文化協会から今回の表彰者を挙げてこられ、生涯学習スポーツ課で活動内容などを確認する形で推薦しているため、文化協会からの意見はすべて反映できていると考えている。

4 教育長報告

・学校の新型コロナウイルス感染症の状況について

福井県においても、全数把握の簡略化を始めている。今後はこれまでと異なる把握の方法とはなるが報道発表は継続される。新規感染者数は減少傾向にあるが、市内の学校で感染者数が複数の学年にわたって増加しており、本日から3日間、学校全体を閉じて臨時休業としたところである。この措置には、学校が学校医と相談して決定している。他の学校からは特段気になる報告はないが、感染者がいないということではないため、引き続き感染防止対策の徹底に努めている。

・学校部活動の地域移行について

1学期末に、児童生徒およびその保護者、教職員を対象に実施したアンケートの結果がまとまったため、後ほど委員の皆様には報告をさせていただく。アンケート結果をもとに、両中学校校長を含めて庁内会議を開催し、今後の方向性を定め、今後は、この方向性に基づき、来年度からの段階的な移行に向けて、スポーツ協会代表者、クラブチームの代表者、両中学校の校長、保護者の代表、PTA会長などで組織するあり方検討委員会を設置し、9月28日に第1回の会議を開催する。数回の会議により、差し当たって来年4月からの移行に必要な準備を進めてまいりたいと考えている。あり方検討委員会は、今後3年間の移行期間の中

で、令和7年度を目標年度として議論を継続し、何よりも子どもたちにとってよりよい形で移行ができるようにしていきたいと考えている。

・拉致問題講演会について

9月22日（木）に、曾我ひとみ氏を迎えて、拉致問題理解教育講演会を開催する。福井県教育委員会、小浜市、小浜市教育委員会の3者の主催、救う会福井、小浜市教育研究会の2者の共催で行う。その関係から、中学生対象の講演会と一般市民対象の講演会の2部構成で実施する。一部は小浜中学校、小浜第二中学校の3年生を対象に午後1時45分から2時45分まで、曾我ひとみ氏の講演と共に、拉致被害者家族の訴えとして、横田拓也氏の映像による講演も行う。同じ内容で、午後3時40分から4時40分までの枠で一般市民を対象に行う。特に若い世代への風化を防ぎ、拉致被害者である地村夫妻の出身地である本市の児童生徒にしっかりと拉致問題について語り継いでいきたいと思っている。何よりも歴史にしてしまわないということが大事だということを念頭に、様々な団体と共同で取り組んでまいりたい。

山崎職務代理者 2部制の講演会の内容に違いはあるのか。どちらに参加すればよいのか。

事務局 曾我ひとみ氏の講演の内容は、1部では若干中学生向けの内容で進める可能性がある。教育委員の皆様には、特に参加される講演会の指定はしない。どちらかもしくはどちらも参加していただいてもよい。

教育長 一般市民を対象とした講演会には、教員も参加する。特に若い教員を中心に拉致問題についての理解を深めていただきたいと考えている。

5 その他

《特になし》

委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委 員 山崎正博 教育長職務代理者

委 員 村上郁子 教育委員